

令和3年度（2021年度）事業計画書

自 令和3年（2021年）4月1日

至 令和4年（2022年）3月31日

PMF2021の実施にあたって

新型コロナウイルスにより、現在も世界中でパンデミックが継続しており、期待されるワクチン効果がいつ頃どのように機能するか極めて不透明である。また、この動向に伴い、海外からの入国制限および入国後の活動制限がどのようになるのか見通せない状況であり、海外から関係者が札幌に集結するプログラムの実施は困難と判断せざるを得ない。

そこで、PMF2021は、国内在住の音楽家を中心として、オンラインを活用しながら開催することとなるが、「世界の若手音楽家の育成」というPMFの理念をしっかりと堅持するとともに、コロナ禍だからこそ取り組める音楽祭の新たな形に挑戦する重要な年と位置付け、新技術も活用しながら、「未来につなげるPMF」を目指して開催する。

なお、この事業計画を踏まえつつ、今後のコロナ動向に応じて柔軟に運営していくこととする。

PMF2021概要

1. 開催期間

オンラインによる国際教育 2021年4月上旬～6月下旬（配信開始は7月予定）

国内修了生等による演奏会 2021年7月23日（金）～8月1日（日） 10日間

2. 開催地 札幌市、函館市、苫小牧市、奈井江町

3. 公演数 約25公演

4. 参加アーティスト

指揮者 原田 慶太楼<プログラムA>

沖澤 のどか<プログラムB>

PMFオーケストラ共演ソリスト

三船 優子（ピアノ）<プログラムA>

三浦 文彰（ヴァイオリン）<プログラムB>

ゲストコンサートマスター

郷古 廉（ヴァイオリン）<プログラムA>

調整中（ヴァイオリン）<プログラムB>

オーケストラ

PMFオーケストラ JAPAN

札幌交響楽団 (PMFホストシティ・オーケストラ)

教授陣

◆PMFヨーロッパ (オンライン教育)

ヴァイオリン	ライナー・キュッヒル (元ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター)
ヴァイオリン	ダニエル・フロシャウアー (ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団)
ヴィオラ	ハインツ・コル (前ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団)
チェロ	シュテファン・ガルトマイヤー (ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団)
コントラバス	ミヒャエル・ブラーデラー (ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団)
フルート	アンドレアス・ブラウ (前ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席奏者)
オーボエ	ジョナサン・ケリー (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
クラリネット	アレクサンダー・バーダー (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
ファゴット	モア・ビロン (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
ホルン	サラ・ウィリス (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
トランペット	タマーシュ・ヴェレンツェイ (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
トロンボーン	イエスパー・ブスク・ソレンセン (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
パーカッション	フランツ・シンドルベック (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)

◆PMFアメリカ (オンライン教育)

ヴァイオリン	デイヴィッド・チャン (メトロポリタン歌劇場管弦楽団)
ヴァイオリン	スティーヴン・ローズ (クリーヴランド管弦楽団)
ヴィオラ	ダニエル・フォスター (ワシントン・ナショナル交響楽団)
チェロ	ラファエル・フィゲロア (メトロポリタン歌劇場管弦楽団)
コントラバス	アレクサンダー・ハンナ (シカゴ交響楽団)
フルート	デニス・ブリアコフ (ロサンゼルス・フィルハーモニック)
オーボエ	ユージン・イズトフ (サンフランシスコ交響楽団)
クラリネット	スティーヴン・ウィリアムソン (シカゴ交響楽団)
ファゴット	ダニエル・マツカワ (フィラデルフィア管弦楽団)
ホルン	ウィリアム・カバレロ (ピッツバーグ交響楽団)
トランペット	マーク J. イノウエ (サンフランシスコ交響楽団)
トロンボーン	デンソン・ポール・ポラード (メトロポリタン歌劇場管弦楽団)
ティンパニ	デイヴィッド・ハーバート (シカゴ交響楽団)

◆プログラムB 国内プロオーケストラの首席奏者 (調整中)

◆PMFピアニスト 佐久間 晃子

PMF 2021 教育プログラム

1. オンラインアカデミー教育

PMF 2021 では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となった PMF 2020 アカデミーのオーディション合格者をアカデミー生として迎える予定であった。しかしながら、今年も札幌に集まることができなかった PMF 2020 アカデミー合格者は、厳しい倍率で選抜され、実力を実証された優秀な若手音楽家であり、彼らに PMF 教授陣による最高水準の教育を受ける機会を提供することは PMF の使命であることから、オンラインを活用した教育プログラムを実施する。

PMF 2021 アカデミー

国外在住者（約 57 人）、日本在住者（約 30 人）

実施概要

4 月上旬～6 月下旬に教授陣とアカデミー生によるオンライン教育を実施。

7 月の演奏会開催期間に合わせて、指導風景と教育の成果となる演奏動画を公開。なお、日本在住者は 2 つのオーケストラプログラムに参加し、オンライン教育の成果を披露。

2. オーケストラ教育

日本国内に在住する PMF2021 アカデミー（約 30 人）および国内音楽大学から推薦を受けた学生（約 28 人）に対し、国内プロオーケストラの首席奏者、PMF 修了生等から指導を受け、演奏会に出演し、教育の成果を発表する。

PMF 2021 演奏会

○国内の音楽家等で PMF オーケストラ J A P A N を編成し、以下の 2 つのプログラムを実施する。

- ・会期前半のプログラムは、国内で活躍中の PMF 修了生約 250 人の中からオーケストラを編成。PMF で学んだ音楽家たちが再び札幌に集結し、PMF 2011 コンダクティング・アカデミー修了生の原田慶太楼指揮による演奏会を、札幌コンサートホール Kitara、苫小牧市にて開催する。なお、コンサートマスターには、NHK 交響楽団で客演コンサートマスターを務め、PMF 2019 でソリストを務めたヴァイオリニスト郷古廉が参加する。
- ・会期後半のプログラムは、全国の音楽大学から推薦を受けた学生を中心にオーケストラを編成。オーケストラの首席奏者には、国内有数のプロオーケストラから首席奏者等を迎えるほか、第 56 回ブザンソン国際指揮者コンクール優勝の沖澤のどかを指揮者として招聘（PMF 初登場）し、ピクニックコンサート、G A L A コンサートを開催する。また、ソリストには、2009 年ハノーファー国際コンク

ルを史上最年少の16歳で優勝したヴァイオリニスト三浦文彰が参加する（PMF初登場）。

- ・ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、アメリカのメジャーオーケストラからなるPMF教授陣が、PMF 2021のために各滞在地で収録したアンサンブル演奏を、デジタルコンサートとしてオンライン配信する。
- ・ウィズコロナ・ポストコロナ時代において3密を回避しながら文化芸術体験を共有する取組として、ピクニックコンサートのライブ配信を行い、ICTを活用しスマートフォンやパソコン等で、場所を問わず誰でもクラシック音楽の魅力を体験できる環境を提供する実証実験を行う。

○上記を含めたPMF 2021の主なコンサートスケジュールは次のとおり。

- ・7月21日（水） 〈PMF 2021 プレ公演〉
PMF アンサンブル演奏会（札幌コンサートホール Kitara 小ホール）
- ・7月23日（金） 〈PMF 2021 プレ公演〉
PMF アンサンブル演奏会（札幌コンサートホール Kitara 小ホール）
PMF 2021 オープニング・コンサート<プログラムA>
(札幌コンサートホール Kitara)
バーンスタイン：「キャンディード」序曲
ガーシュイン：ピアノ協奏曲 へ長調
ガーシュイン：交響的絵画「ポーギーとベス」 ほか
- ・7月24日（土） PMF アンサンブル演奏会（札幌コンサートホール Kitara 小ホール）
PMF オーケストラ JAPAN 苫小牧公演<プログラムA>（苫小牧市民会館）
- ・7月25日（日） PMF ホストシティ・オーケストラ演奏会（札幌コンサートホール Kitara）
PMF 豊平館コンサート（豊平館）
- ・7月26日（月） 三船優子 ピアノ・リサイタル（札幌コンサートホール Kitara）
PMF アンサンブル函館公演（函館市民会館）
- ・7月27日（火） 郷古廉 ヴァイオリン・リサイタル（札幌コンサートホール Kitara）
PMF アンサンブル奈井江公演（奈井江町文化ホール）
PMF アンサンブル清田区公演（清田区民センター）
- ・7月28日（水） 三浦文彰 ヴァイオリン・リサイタル（札幌コンサートホール Kitara）
- ・7月29日（木） PMF 時計台コンサート（札幌市時計台）
- ・7月30日（金） PMF アンサンブル演奏会（札幌コンサートホール Kitara 小ホール）
- ・7月31日（土） **ピクニックコンサート<プログラムBほか>**（札幌芸術の森・野外ステージ）
芥川 也寸志：トリプティック「弦楽のための三楽章」
プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲 第2番 ト短調 作品63
ストラヴィンスキー：ペトルーシュカ（1947年版）
- ・8月1日（日） PMF GALA プレコンサート（札幌コンサートホール Kitara 小ホール）
PMF GALA コンサート<プログラムBほか>（札幌コンサートホール Kitara）

音楽普及のための取り組み

一般の人々が身近にクラシック音楽に触れることができる機会を提供することで、クラシック音楽の普及を図る。

2021年度は、青少年教育プログラムとして、地元大学の音楽専攻生を対象としたPMF公開マスタークラスを開催するほか、ユース・ウイング席やU25割引を実施するなど、若い世代へのクラシック音楽の普及、未来を担う人材の育成のための取組を継続する。

1. オープンリハーサル

札幌コンサートホール Kitara で行われるPMFオーケストラ J A P A Nのゲネプロ（本番前の全体練習）やリハーサルの指導風景を、音楽関係者及び小学生から25歳（1995年生まれ）までの若い世代等を対象に無料で公開する。定員は1回につき200人。

2. PMFクラシックLABO（旧・教育セミナー）

クラシック音楽に関心のある方だけではなく、幅広い方々にクラシック音楽の魅力に触れてもらうため、「教育セミナー」の名称を「PMFクラシックLABO」に変更して実施する。第1回は、指揮者の原田慶太楼が公開リハーサルの中で、オーケストラの仕組みや楽器の紹介、聴きどころ等を紹介するイベントを開催する。なお、PMF会期外にも1回程度、開催を予定。

3. PMF公開マスタークラス

国内のプロオーケストラで首席奏者等として活躍中のPMF修了生等が、北海道で音楽を学ぶ専攻生を楽器・編成別に直接指導し、その様子を一般に公開する。ヴァイオリン、木管楽器、金管楽器等、計3日3講座を予定。

4. ユース・ウイング席・U25割引の設定

クラシック音楽を未来につなげるため、小学生から25歳（1996年生まれ）までの若い世代に、札幌コンサートホール Kitara で開催する演奏会のうち2公演において、ステージを一望できる「ユース・ウイング席」を無料で提供する。

また、U25割引（ピクニックコンサートは芝生自由席無料）を引き続き実施し、ユース世代がよりクラシック音楽に接しやすい環境を提供する。

5. 修了生によるミニ・コンサート

年間を通じてクラシック音楽の普及及びPMF事業の認知度の向上を図るため、メインスポンサー等の協力を得ながら、多くの人々が行き交う施設などでミニ・コ

ンサートを開催する。

また、札幌市の主催するプロジェクト「学校DEカルチャー」に参加し、小学校において、修了生によるミニ・コンサートを開催する。

(修了生によるミニ・コンサート開催実績は、2020年度は18公演(予定)、2019年度は42公演)